



株式会社 梅田製作所



本社工場

- 本社所在地：東京都武蔵村山市
- 事業概要：・・・電気めっき・アルマイト加工の金属表面処理及び精密板金加工・金属プレス加工
- 常時使用する従業員：130名
(2025年4月時点)
- 現在の売上高：20億円
(2024年6月期)
- 法人番号：8012801008675
- Web：<https://umeda-ss.co.jp/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
梅田 吉男

技術の深化と、未来への挑戦。変革を取り込み、持続的成長へ。

創業以来、金属表面処理技術を核とした「匠の技」と「品質へのこだわり」でお客様の信頼に応えてまいりました。今、DX・AIの波が産業を変える好機と捉え、成長著しいAI関連半導体分野へ果敢に挑戦し未来を拓きます。デジタル技術で生産性を向上させ、お客様との信頼を強化。2035年度売上高100億円達成は、伝統と革新を融合させ変革を力に変える私たちの決意です。全社一丸で持続的成長を遂げます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2035年に売上高100億円達成を目標とします。AI関連半導体製造装置の関連に係る製造の大規模工場を建設し、これを成長の核とします。さらに戦略的なM&Aも実行することで事業規模を拡大し、年平均20%の成長を目指します。既存事業もAI・DXで強化し、高付加価値型製造業としての地位を確立します。

課題

成長著しいAI関連半導体分野での需要急増への対応が最重要課題です。そのための製造・技術・営業体制の強化、主要顧客の期待に応える生産能力増強と技術開発が急務となります。並行して、全社的なAI・DX推進による生産性革新と、将来の成長に向けた医療機器分野への参入準備も進める必要があります。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

AI関連半導体分野へ注力し、主要顧客の増産要請に応える最新鋭工場を建設。設計開発協力から一貫生産体制を整備します。効果的なM&Aで技術・販路を補完し、生産プロセスをAI・DX化、スマートファクトリー化を推進。大手メーカーとの連携を強化し、サプライチェーン内での価値向上を図ります。

実施体制

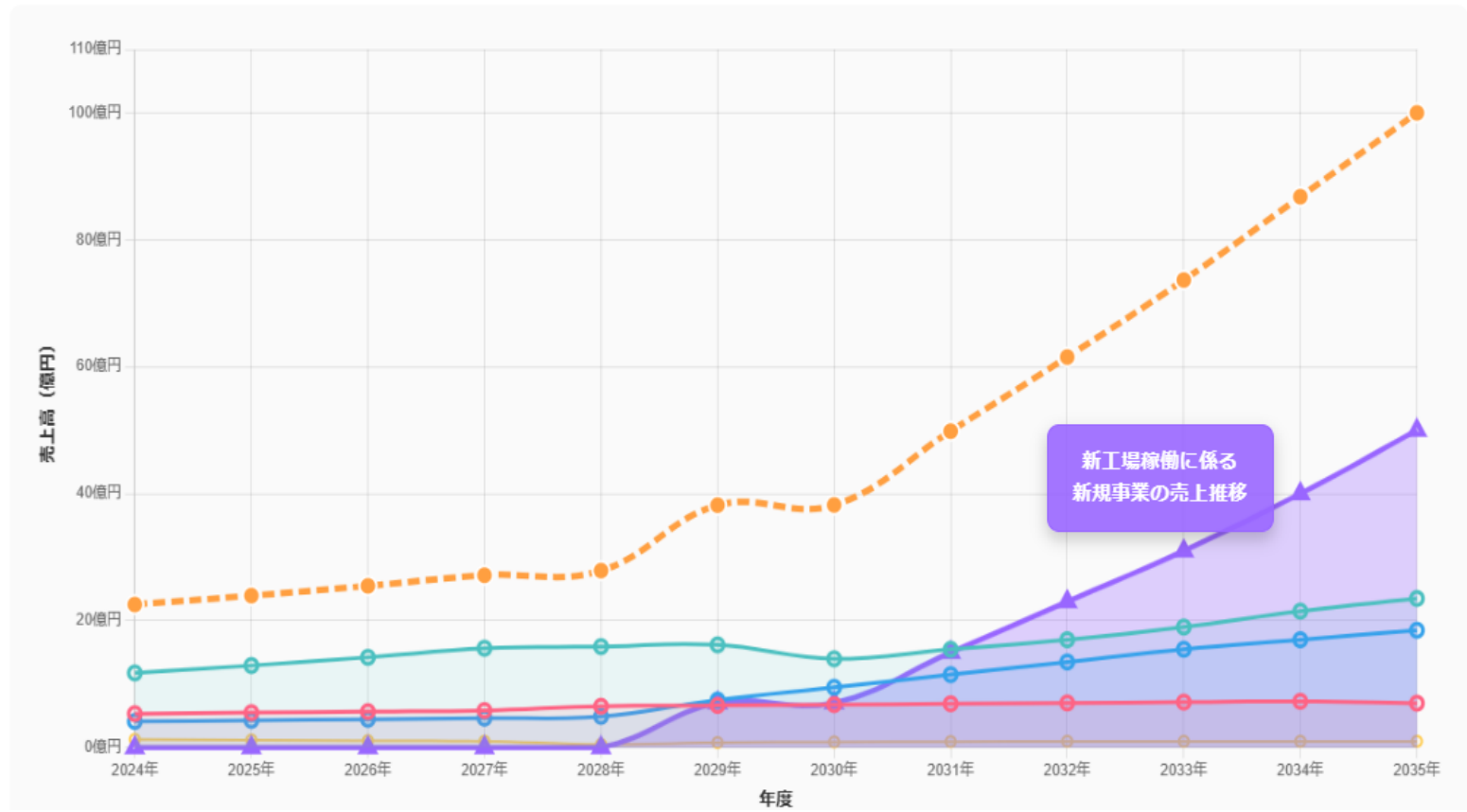
社長直轄でAI半導体向け新工場建設を推進する専門チームを編成。部門横断DX推進チームを設置し、外部専門家と連携。M&A戦略推進のため専門部署を新設。AI・DX分野の高度人材採用と全社的な育成を加速し、全社のデジタル対応力を強化する。

売上高100億円実現に向けた計画

株式会社梅田製作所

売上高100億円実現 成長戦略ビジョン

売上高推移計画（2024-2035年） - 100億円達成



売上高100億円実現に向けた具体的な取組

- AI関連半導体市場の爆発的な成長という絶好の事業機会を捉え、主要顧客である半導体大手T様からのAI向け半導体製造装置関連の大規模増産依頼に応えるため、最新鋭の新工場建設に踏み切ります。この新工場は、AI向けプローバー量産及び将来の半導体製造装置関連検査装置市場への展開を見据えた中核拠点となります。
- 新工場の大きな特徴として、独自の「社内外注エリア」を設置し、重要なサプライヤーを招き入れ、自社とサプライヤーが同一工場内で連携。共同で加工・問題解決・改善、生産工程開発まで行える、他に類を見ない生産共同体制を構築します。これにより、最速の納期対応、最高水準の品質を実現。サプライヤーの体制・マンパワー不足を当社のリソースで補完し、地域サプライヤー全体の競争力強化にも貢献します。
- 並行して、既存事業においても全社的なDX・AI推進により、めっき・精密板金加工・金属塗装の各工程で生産効率向上、品質安定化、リードタイム短縮を実現します。
- 2030年には、戦略的M&Aを実行します。AI関連半導体分野における技術力・生産能力の更なる強化、また半導体製造に係る検査装置全体という大市場に本格的に参入し、事業領域を拡大することを目的とします。M&Aによる事業基盤拡大、主要顧客との事業協働体制強化、「社内外注体制」の進化・拡大を推進し、M&A前比で生産体制を倍増させ、成長著しいAI市場の需要を多角的に捕捉します。これらの具体的措置を実行することで、2035年度までに売上高100億円超を達成し、高付加価値型製造業へと進化するという「100億宣言」の目標達成に全社一丸となって邁進いたします。